

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/11/27号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

JMMC開催を控えて乱高下する

NY原油先物相場は、1バレル=78.46ドルまで切り返した後、75ドル台中盤まで軟化し、前週比ではマイナス圏に沈んだ。石油輸出国機構（OPEC）プラスの合同閣僚監視委員会（JMMC）を控える中、イベントリスクから週前半は安値修正の動きが優勢だった。しかし、11月22日にJMMCの開催を26日から30日に延期することが発表されると、産油国の調整が難航しているとの見方が強まり、一時73.79ドルまで軟化する不安定な地合になった。米原油在庫が5週連続で増加したことはネガティブ、株高・ドル安環境はポジティブ。

需要不安などを背景に原油相場の軟化傾向が強まる中、産油国の対応が注目されている。一部メディアでは最大で日量100万バレルの生産枠引き下げが合意される可能性が報じられているが、開催日が延期されたことで、調整が難航していることが窺える。アフリカの産油国が増産を志向しており、合意形成が可能なのか、合意できても小規模に留まるのではないかとの見方が上値を圧迫した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（11月17日時点）は、原油が前週比870万バレル増、ガソリンが75万バレル増、石油精製品が102万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

30日に延期されたJMMC、その結果次第で大きく揺れ動く

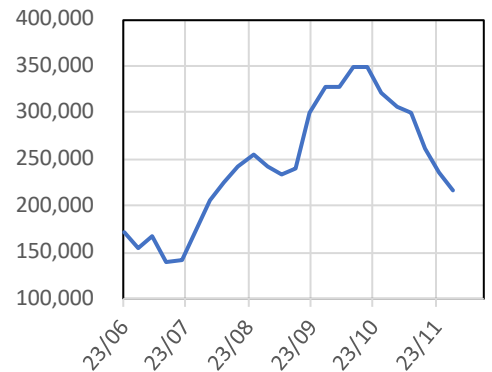
11月30日にJMMCが開催される。今会合の焦点は、1) OPECプラス全体の生産枠引き下げ、2) サウジアラビアとロシアの自主的な供給削減策の延長の二点である。26日時点ではどのような合意形成が行われるのか判断材料は乏しいが、一定規模の生産枠引き下げは可能とみられている。また、サウジアラビアとロシアは来年3月まで供給削減策の延長を決める見通しになっている。

仮に日量100万バレル規模になると原油相場が急伸する可能性がある一方、50万バレルといった規模だと影響は限定されやすい。30日までは思惑先行で乱高下が繰り返される可能性が高いが、いわゆる「OPECプット」が機能するか否かによって12月初旬の値動きは決まることになる。70ドル台前半では下げ渋る展開が想定されるが、改めて相場を大きく押し上げていくことは難しいだろう。

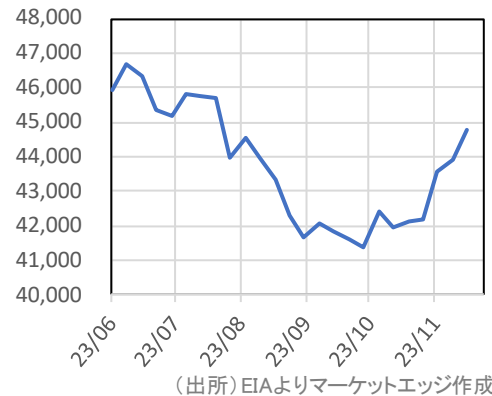
米原油在庫は5週連続で増加している。例年だと製油所の定期メンテナンスが終了して原油在庫の取り崩しが始まりやすいが、今季は11月17日時点の製油所稼働率が87.0%と前年同期の93.9%を大きく下回っている。石油精製品在庫は過去5年レンジ下限付近だが、暖冬予想の影響もあって精製量を増やす力が働きづらい環境になっている。しかも米国内の産油量は高止まりしている。このため、米国内需給のタイト感を改めて盛り上げることは難しくなっている。少なくとも米原油在庫の増加傾向に歯止めが掛かるまでは、80ドル台を回復してもそこからの一段高を想定することが難しい状況になっている。

イベントとしては、中国の製造業PMIが11月30日と12月1日に発表予定になっている。

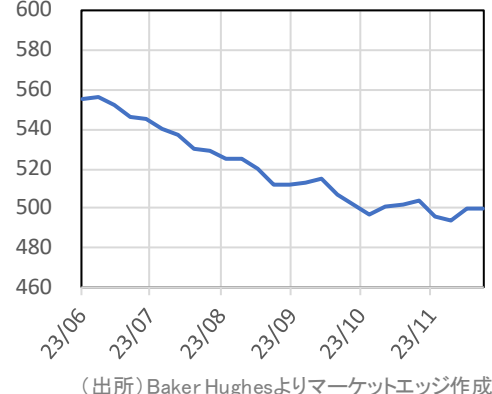
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

